

- 南紀白浜空港から羽田空港へ 約1時間10分
- 和歌山市まで 関西国際空港からバスで 約40分 大阪市内中心部から車で 約1時間
- JR
- 新幹線
- 南海電鉄
- 高速・自動車専用道路
- 京奈和自動車道
- 主要道路
- 今号の取材先

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ
和歌山県広報室
TEL 073-441-2032 FAX 073-423-9500
e-mail nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp

県外にある情報コーナー
東京 わかやま喜集館
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL: 03-3216-8000 FAX: 03-3216-8002
e-mail wtankou@sepia.ocn.ne.jp
案内時間 10:00~19:00(日曜、祝日は17:00まで)
休館日: 年末年始

名古屋 和歌山県名古屋観光センター
名古屋市中区栄4-1-1 中ビル4階
TEL: 052-263-7273 FAX: 052-265-0327
e-mail wakayama758@crocus.ocn.ne.jp
案内時間 9:00~17:45(月~金) ※祝日・年末年始は除く

和歌山県フォトライブラリー (写真貸出)
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/>

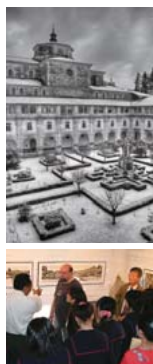
PRESENT 北山村特産「じゃばらジュース」を5名様にプレゼント



北山村特産のじゃばらを使用した「じゃばらジュース」1ケース(30本)を、5名様にプレゼントします。じゃばらとダイダイで割った飲みやすいドリンクです。本誌のアンケートがきで応募下さい。締め切りは8月25日、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

企画・発行/和歌山県
発行日/平成20年7月30日
編集/(株)エフビーアイ・コミュニケーションズ
印刷/(株)恒陽社

姉妹道提携10周年、「巡礼の精神」写真展



(上) サンティアゴ巡礼の道にあるベネディクト派サモス修道院
(下) 盛況だった写真展のオープニングイベント(中央がオカニャ氏)

和歌山県とスペインのガリシア州が「祈りの道、サンティアゴ巡礼と熊野古道」の姉妹道提携を結んで10年になる。記念イベントとして、5月23日~6月1日まで和歌山市内のギャラリーで、ルイス・オカニャ氏の写真展を開催した。

サンティアゴ巡礼の精神を伝えるサモス修道院の写真40点を展示。セレモニーでは、巡礼道の保全・活用を行うガリシアの企業担当者が講演したほか、参加者にはガリシア料理やワインも披露、地元写真部の高校生とも交流を深めた。

県は今年、10周年を機にガリシア州と国際観光共同プロモーションを行う。「祈りの道」写真展、ミニ観光物産展、郷土芸能や料理の披露、ツアーデスクなどを、田辺市(9月4日~ビッグU)、パリ(9月)、サンティアゴ(10月)、東京(12月16日~相田みつを美術館)で実施するほか、今後、観光客誘致など相互に協力しあう。

トルコ大統領が串本の慰霊碑訪問



慰霊碑の前で追悼の言葉を述べる

トルコのアブドゥラー・ギョル大統領が6月7日、本州最南端の串本町にあるトルコ軍艦「エルトゥールル号」の慰霊碑を訪れ、犠牲となった乗組員の追悼式に参列した。大統領は約580名の将兵を祭る慰霊碑に献花し、和歌山県知事や串本町長らとともに追悼の言葉を述べた。

日本ではあまり知られていないが、1890年、串本町大島沖で遭難した軍艦の乗組員を住民が献身的に救助した。このことは、今もトルコの人々に語り継がれている。後に1985年イラン・イラク戦争の最中、イランの首都・テヘランから日本人を脱出させるため、トルコが救援機を送ってくれたという話につながる。エルトゥールル号の悲劇を救った和歌山人の心がトルコの人々の中に今も生きている証だ。

坂本冬美さん、新曲「紀ノ川」PRで県庁訪問



仁坂知事を表敬訪問した坂本冬美さん

本県出身の歌手、坂本冬美さんが故郷を歌った曲「紀ノ川」PRのため、6月18日、仁坂吉伸知事を表敬訪問した。

和歌山を舞台にした曲はデビュー22年目で初めて。有吉佐和子の同名小説がモチーフで、『羅生門』、『雪国』に続く文学作品シリーズ3部作となる。「故郷の川の流れて母の想いを重ねあわせて聞いてほしい、代表曲にしたい」と意気込みを語る坂本さんに、知事は「和歌山の顔として期待しています」とエールを送った。